

平成23年度事業報告書

(平成23年4月1日～平成24年1月3日)



財団法人 日本国際教育支援協会

目 次

I. 日本人学生及び外国人留学生等の修学・生活支援事業	1
1. J E E S 奨学金	1
2. 冠奨学金	2
3. 学生援助プログラム	5
(1) 学生緊急貸付	5
(2) 留学生文化理解促進	5
II. 外国人留学生等の民間宿舍入居促進のための補償事業 (留学生住宅総合補償)	5
III. 外国人の日本語能力及び日本語教育の水準向上のための事業	6
1. 日本語能力試験	6
2. 日本語教育能力検定試験	6
IV. 日本学生支援機構が行う学資の貸与に係る保証事業	7
V. 学生の教育活動における災害補償事業 (学生教育研究災害傷害保険)	7
VI. 国際交流会館等における外国人留学生等の生活支援事業	8
1. 日本学生支援機構からの受託	8
2. 東京工業大学からの受託	8
3. 札幌市からの受託	8
VII. 所有している土地等の貸付事業	9
VIII. 広報活動	9

平成23年度（財）日本国際教育支援協会 事業報告書

（平成23年4月1日～平成24年1月3日）

本協会の目的を達成するため、日本人学生及び外国人留学生等に対する修学・生活支援事業、外国人の日本語能力向上のための事業、日本学生支援機構が行う学資の貸与に係る保証及び国際交流会館等の管理・運営等に関する次の諸事業を行った。

本年度上記期間は、19,309,755千円の経常収益により、下記の費用で事業を行った。

I 日本人学生及び外国人留学生等の修学・生活支援事業

(1,043,273千円)

1. JEES 奨学金

企業又は個人から奨学金給付の基金のために寄せられた寄付金に加え、本協会の剰余金の一部を基金とし、この果実等によって、新たに募集する奨学生とともに継続している者に対し、奨学金の給付を行った。また、給付拡充のため寄附を受け入れた。

名 称	対 象	給 付 内 容	給付 人数	条件等
一般奨学金	大学、大学院の正規生として在籍する私費外国人留学生	奨学金月額：30,000円	58人	指定大学からの推薦
日能奨学金	大学、大学院の正規生として在籍する私費外国人留学生で日本語等を専攻している者	奨学金月額：50,000円	36人	日本語能力試験N1の合格者のうち、成績優秀者
国際理解推進奨学金	大学、大学院の正規生として在籍する私費外国人留学生	奨学金月額：50,000円	3人	日本語教育能力検定試験合格者
	国際連合大学大学院サステイナビリティと平和研究科（修士課程）に在籍する私費外国人留学生（平成23年度より支給開始）	奨学金月額：50,000円	2人	発展途上国（ODA対象国）出身の者 国際連合大学からの推薦
計			99人	

2. 冠奨学金

企業又は個人から寄付を募り、協力を得られる企業等の名を奨学金の名称に冠する「冠奨学金」として、新たに募集する奨学生とともに継続している者に対し、奨学金の給付を行った。また、制度の広報に努め、新規奨学金の開設のため寄付を受け入れた。

名 称	対 象	給 付 内 容	給付人数	条件等
神内留学生奨学金	学部学生	奨学金月額： 80,000 円	1 人	中国出身者、中央大学からの推薦
KANSAI PAINT SCHOLARSHIP	大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 100,000 円	6 人	アジア地域の指定 6 か国出身者、指定大学からの推薦
サニックス 留学生奨学金	学部学生 (成績優秀者)	入学一時金： 100,000 円	10 人	北九州市立大学国際環境工学部指定、大学からの推薦
	学部学生 (2 年生以上)	奨学金月額： 20,000 円	10 人	
飯田留学生奨学金	大学院研究生 (博士課程)	奨学金月額： 100,000 円 入学金、授業料等	1 人	インドネシア出身者、奈良先端科学技術大学院大学からの推薦
藤光樹脂留学生奨学金	大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 80,000 円	1 人	台湾出身者、指定大学からの推薦
ドコモ留学生奨学金	渡日後採用： 大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 120,000 円	40 人	アジアの国・地域出身者、指定大学からの推薦
	渡日前採用： 大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 120,000 円	1 人	インド、バングラデシュ、フィリピン出身者、指定大学からの推薦
TIS 留学生奨学金	学部学生 大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 70,000 円 授業料	1 人	ベトナム出身者、指定大学からの推薦
白井国際医学奨学金	大学院学生 (博士課程)	奨学金月額： 150,000 円	1 人	ベトナム出身者、金沢大学大学院医学系研究科からの推薦
		奨学金月額： 50,000 円 渡航費、授業料、 入学金	3 人	
デルフィス・博報堂奨学基金	学部学生	奨学金月額： 120,000 円 授業料、入学金、 渡航費、研修費	1 人	中国高等教育学会・広告教育専門委員会の会員大学からの推薦

名 称	対 象	給 付 内 容	給付 人数	条件等
NTT データ奨学金	大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 150,000 円	7 人	指定大学からの推薦
三菱商事 外国人留学生奨学金	学部学生 大学院学生	奨学金月額： 100,000 円 150,000 円	100 人	指定大学からの推薦
アジア知財人材奨学金	大学院学生 (修士課程)	奨学金月額： 50,000 円	1 人	アジア地域出身者、東京理 科大学からの推薦
ニッポンレンタカー 地球環境奨学金	大学院学生 (博士課程)	奨学金月額： 100,000 円 研究補助金： 200,000 円 (年上限)	5 人	アジア地域出身者・日本 人、首都圏指定大学からの 推薦
ローソン 外国人留学生奨学金	学部学生 日本語学校生	奨学金月額： 130,000 円 奨学金月額： 25,000 円	10 人 2 人	ベトナム出身者、現地学校 からの推薦
伊藤忠奨学金	学部学生	奨学金月額： 125,000 円	59 人	アジア・中近東・北米・欧 州・南米地域の指定国出身 者、指定大学からの推薦
ソーシャル・ イノベーション奨学金	大学院学生	奨学金月額： 80,000 円 奨励金： 200,000 円	1 人 2 人	アジア・アフリカ・中南米 地域の指定国出身者、指定 大学からの推薦
M's 奨学金	大学院学生	奨学金月額： 100,000 円	1 人	中国出身者、岩手大学から の推薦
いすゞ自動車奨学金	大学院学生	奨学金月額： 200,000 円	1 人	イラン出身者
JT アジア奨学金	大学院学生	奨学金月額： 150,000 円	20 人	アジア地域出身者、指定大 学からの推薦
群馬大学ものづくり HiKaLo 奨学金	大学院学生	奨学金月額： 80,000 円 入学金、授業料	1 人	中国出身者、群馬大学から の推薦
健心奨学会 外国人留学生奨学金	学部学生	奨学金月額： 70,000 円	1 人	ベトナム出身者、指定日本 語学校からの推薦
大阪協栄信用組合 奨学金	学部学生	奨学金月額： 50,000 円 奨学金月額： 30,000 円	1 人 3 人	ベトナム出身者、指定大学 からの推薦

名 称	対 象	給 付 内 容	給付人数	条件等
豊田通商留学生奨学金	学部学生	奨学金月額： 100,000 円	14 人	アジア・アフリカ・中近東・ロシア・中南米地域の指定国出身者、指定大学からの推薦
KAWASAKI SCHOLARSHIP	日本語学校生	奨学金月額： 90,000 円	5 人	トルクメニスタン出身者
中栄奨学会・日本紙パルプ商事奨学金	学部学生	奨学金月額： 50,000 円	2 人	日本人学生 指定大学からの推薦
石橋財団奨学金	大学院学生 (受入)	奨学金月額： 150,000 円	6 人	国内指定大学からの推薦 欧州・北米の大学からの美術史専攻留学生
	大学院学生 (派遣)	奨学金月額： 150,000 円	3 人	国内指定大学からの推薦 欧州・北米へ留学する美術史専攻日本人学生
計			321 人	1 個人 25 団体

東日本大震災による被災学生支援

名 称	対 象	給 付 内 容	給付人数	条 件 等
三菱商事緊急支援奨学金(東日本大震災)	短大・学部・修士学生	奨学金月額： 100,000 円	633 人	被災学生
双日復興支援教育基金	学部学生	奨学金月額： 70,000 円	52 人	被災学生 国内指定大学からの推薦
ジョンソンコントロールズ奨学基金	理工系学部 3,4 年及び修士	奨学金月額： 50,000 円	8 人	被災学生 国内指定大学からの推薦
東芝 東日本大震災奨学基金	短大・学部・修士学生	奨学金月額： 100,000 円	231 人	被災学生 岩手・宮城・福島県内の短大、大学からの推薦
グラクソ・スミスクライン「オレンジ・スカラシップ」	薬学部学生	奨学金月額： 50,000 円	30 人	被災学生 指定大学からの推薦
豪州首相日本対象教育支援プログラム	大学等の日本人学生等	奨学金： 約 5,000 豪ドル (400,000 円程度)	31 人	被災地域学生等で豪州への留学等予定者
	豪州の大学等の学生等			豪州から被災地域への留学等予定者
計			985 人	6 団体

3. 学生援助プログラム

(1) 学生緊急貸付

外国人留学生及び日本人学生を対象に、一時的に必要な資金として20万円までを無利子で貸与した。

また、東日本大震災により被災した学生を支援するため、「災害特別援助」として貸付枠10万円の枠を新設し、1年間を返済猶予期間として無利子で貸与した。

(2) 留学生文化理解促進

外国人留学生を対象に、以下の文化理解促進等のための交流事業を行った。

実施日	内容	参加者数
平成23年12月2日	「文楽鑑賞教室」 国立劇場大劇場での文楽解説及び 「曾根崎心中」の鑑賞	16名
平成23年12月10日	「留学生スタディーツアー」 鉄道博物館の見学及び本所防災館での防災体験と講習	21人

軽井沢セミナーハウスを外国人留学生等の交流の場として提供した。

利用期間	延べ利用（泊数）
平成23年7月1日～9月30日	255

II 外国人留学生等の民間宿舎入居促進のための補償事業

(留学生住宅総合補償)

(48,527千円)

外国人留学生が民間宿舎等への入居に際し、保証人を探す困難さと、保証人の精神的・経済的負担を軽減し、円滑な入居を支援することを目的として、保証人補償基金及び保険から構成される「留学生住宅総合補償」を実施した。

平成23年11月より、協力校の担当者を対象とした加入受付・管理サイト「留学生住宅システム」の稼働を開始し、加入受付等事務の合理化を図った。

また、大学等の担当者に対し、制度理解及び加入促進のための説明会を全国8ブロックにおいて開催した。

新規加入者数 (人)	内 訳	補償基金加入金 及び保険料 (円)	補償金支払及び保険金支払	
			件数 (件)	金額 (円)
11,133	保証人補償基金	24,109,000	132	15,014,813
	海外旅行保険	40,102,500	39	14,070,485
	計	64,211,500	計	29,085,298

1. 日本語能力試験

日本語を母語としない者の日本語能力を測定し、認定するための試験を以下のとおり実施した。

実施日：第1回 平成23年7月3日（日）

第2回 平成23年12月4日（日）

区 分	試 験 会 場	応募者数 (人)	受験者数 (人)	認定者数 (人)
第1回(7月)	全国 34 都道府県 63 会場	53,920	49,957	20,009
第2回(12月)	全国 40 都道府県 83 会場	76,061	70,413	27,745
計		129,981	120,370	47,754

(受験料：いずれのレベルも 5,500 円)

応募者数の内訳(人)				
N1	N2	N3	N4	N5
61,142	42,078	13,791	10,651	2,319

2. 日本語教育能力検定試験

日本語教員となるために学習している者又は既に日本語教員として教育に携わっている者等を対象として、知識や能力が必要とされる基礎的水準に達しているかどうかを検定するための試験を以下のとおり実施した。

実施日：平成23年10月23日（日）

試 験 会 場	応募者数 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
全国 7 都道県 8 会場	7,034	5,732	1,527

(受験料：10,600 円)

IV 日本学生支援機構が行う学資の貸与に係る保証事業

(20,900,304 千円)

日本学生支援機構の奨学金を貸与される学生に対して、機関保証を行う事業を実施した。

加入状況	保証料徴収		代位弁済		
	新規加入件数 (件)	対象件数 (件)	徴収保証料額 (円) ※	件数 (件)	代位弁済額 (円)
	215,876	563,025	17,329,360,827	2,645	4,851,929,849

※奨学金の採用取消等により生じた返戻保証料を含まない。

本協会の有する機関保証求償債権を適切に回収し、機関保証事業の健全な維持に資するため、平成 23 年 8 月 1 日よりサービサーに回収業務委託を実施した。なお、サービサーの選定にあたっては、第三者委員である有識者を含めた選定委員会により選定した。

V 学生の教育活動における災害補償事業

(学生教育研究災害傷害保険)

(61,500 千円)

賛助会員たる大学との協力の下に、学生が、正課中、学校行事中等に被った災害を補償する「学生教育研究災害傷害保険」(略称：学研災)、学生が、正課中、学校行事中等に他人にケガをさせ、又は他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償を補償する「学研災付帯賠償責任保険」(略称：付帯賠償)及び学生生活における傷害、疾病及び賠償責任等を 24 時間補償する「学研災付帯学生生活総合保険」(略称：付帯学総)に関する諸事業を行った。

なお、近年の大学及び加入学生のニーズに対応することを目的とし、平成 23 年度より、学研災本体及び通学特約の保険料及び補償範囲の改定を実施するとともに接触感染特約を新設した。

また、大学の担当者に対する説明会を全国 8 ブロックにおいて開催し、制度、概況等の説明を行った。特に、学研災及び付帯賠償の未加入大学に対し加入の促進を図るとともに、付帯学総の周知を図った。

保 険 種 別	新規 加入者数 (人)	徴 収 保 険 料 (円)	保 険 金 支 払	
			件 数 (件)	金 額 (円)
学生教育研究災害傷害保険	1,025,295	2,042,556,800	14,357	1,077,355,000
学研災付帯賠償責任保険	594,559	401,940,570	202	48,611,322
学研災付帯学生生活総合保険	40,095	1,712,287,389	6,597	119,122,001
計		4,156,784,759	21,156	1,245,088,323

1. 日本学生支援機構からの受託

独立行政法人日本学生支援機構が保有する 14 か所の留学生会館等の管理運営業務を機構より受託等し、入居外国人留学生等の生活支援を行った。

区 分	居 室 数
札幌国際交流会館	50
仙台第一国際交流会館	57
仙台第二国際交流会館	79
駒場国際交流会館	314
祖師谷国際交流会館	362
東京国際交流館	801
東京日本語教育センター留学生寮	149
金沢国際交流会館	49
大阪第一国際交流会館	263
大阪第二国際交流会館	40
大阪日本語教育センター留学生寮	54
広島国際交流会館	41
福岡国際交流会館	54
大分国際交流会館	204
合 計	2,517

2. 東京工業大学からの受託

東京工業大学より駒場国際交流会館 1 号館の管理運営業務を受託し、入居外国人留学生等の生活支援を行った。

区 分	居 室 数
駒場国際交流会館 1 号館	70

3. 札幌市からの受託

札幌市から、指定管理者としての指定を受け、札幌留学生交流センターの管理運営業務を受託し、入居外国人留学生等の生活支援を行った。

区 分	居 室 数
札幌留学生交流センター	50

VII 所有している土地等の貸付事業

(8,003 千円)

所有している土地について、以下の用途で貸付を行った。

用 途	地 域
日本学生支援機構の国際交流会館等用地	名古屋、大阪、広島
駐車場	仙台、京都、熊本

VIII 広報活動

出版物「財団法人日本国際教育支援協会 ～組織と事業～」及び Web サイト（アクセス件数：1,551 千件）等を利用した広報活動を行った。